

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11)特許出願公告番号

特公平6-99105

(24) (44)公告日 平成6年(1994)12月7日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 6 B 23/22

識別記号

庁内整理番号

F 8709-3F

F I

技術表示箇所

発明の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願昭62-190256

(22)出願日 昭和62年(1987)7月31日

(65)公開番号 特開平1-34889

(43)公開日 平成1年(1989)2月6日

(71)出願人 999999999

株式会社日立ビルシステムサービス
東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72)発明者 河嶋 孝之

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 日
立エレベータサービス株式会社内

(74)代理人 弁理士 武 顕次郎

審査官 平岩 正一

(54)【発明の名称】 乗客コンベアの内デツキ

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】乗客を乗せて移動するステップの側部に隣接するスカートガードの上部と、前記ステップの側方に立設する欄干の基部との間を覆う乗客コンベアの内デツキにおいて、下部に、前記スカートガードの上部およびこのスカートガードの上部を支持する上部ブラケットにそれぞれ穿設される穴に嵌合する突起部を備えるとともに、上部に、前記欄干の基部に螺着される取付部を設けたことを特徴とする乗客コンベアの内デツキ。

【発明の詳細な説明】

〔産業上の利用分野〕

本発明は、乗客コンベアの内デツキに係り、特に、乗客コンベアの点検整備時の脱着に好適な内デツキに関する。

〔従来の技術〕

2

第3図は従来の乗客コンベアの内デツキを示す縦断面図である。

この第3図において、乗客を乗せて移動するステップ1の側部には、スカートガード2が隣接し、このスカートガード2は、上部ブラケット3と下部ブラケット4により支持されるとともに、上端部がねじ5により上部ブラケット3に固定される。また、ステップ1の側方には欄干6が立設され、この欄干6は欄干押え7を介しトラス8により支持される。そして、これらの欄干6の基部とスカートガード2の上部との間を覆う内部デツキ9は、上部下面に爪部10を備え、この爪部10と内部デツキ9の上部により形成されるすきま部11に、トラス8の突起部12が嵌合する。一方、内デツキ9の下部は、この下部とスカートガード2の上部をそれぞれ貫通する穴13、14に挿入されて上部ブラケット3に設けられるねじ穴15に螺

10

3

合するねじ16により、スカートガード2を介して上部ブラケット3に固定される。

このように構成された内デツキ9にあつて、乗客コンベアの点検整備などのため取外しを行なうには、まず、上部ブラケット3のねじ穴15に螺合するねじ16をゆるめて取外し、次いで、内部デツキ9をステップ1側へ引張ることにより、すきま部11をトラス8の突起部12から取外すようになつてゐる。また、点検整備などが終了し、この内デツキ9を再び取付けるには、すきま部11をトラス8の突起部12に嵌合させてから、上部デツキ9の穴13の位置をスカートガード2の穴14および上部ブラケット3のねじ穴15の位置に合わせ、ねじ16をこれらの穴13、14に挿入し、ねじ穴15に螺合するようになつてゐる。なお、この種の装置として関連するものには、例えば実開昭57-155173号公報に示すものが挙げられる。

〔発明が解決しようとする問題点〕

ところで、上述した従来の乗客コンベアの内デツキにあつては、乗客コンベアの点検整備などのため脱着を行なう場合に、この脱着をくり返す度に穴13などの芯ずれを生じるが、この状態で無理にねじ16を取付けると、ねじ16とねじ穴15のねじ部が損傷するので、これに伴つて、乗客コンベアの稼動時の振動によりねじ16がゆるみ出し、ステップ1上方に突き出たねじ16の頭部に、乗客の衣服や持物などが引掛かるという問題があつた。本発明は、このような従来技術における実情に鑑みてなされたもので、その目的は、ステップの近傍に取付用ねじを設けることのない乗客コンベアの内デツキを提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

この目的を達成するために、本発明は、ステップの側部に隣接するスカートガードの上部と、前記ステップの側方に立設する欄干の基部との間を覆う乗客コンベアの内デツキにおいて、下部に、前記スカートガードの上部およびこのスカートガードの上部を支持する上部ブラケットにそれぞれ穿設される穴に嵌合する突起部を備えるとともに、上部に、前記欄干の基部に螺着される取付部を設けた構成にしてある。

〔作用〕

本発明は、上記のように構成してあることから、内デツキの下部に備えられる突起部がスカートガードおよび上部ブラケットにそれぞれ穿設される穴に嵌合するとともに、内デツキの上部に設けられる取付部が欄干の基部に螺着される。これにより、ステップ近傍に配置される内デツキ下部に取付用ねじを設けることなく、該内デツキを容易に取付けることができる。したがつて、内デツキの取付用ねじの抜け出しにより、乗客の衣服などを引掛

4

けるという事故を生じることがない。

〔実施例〕

以下、本発明の乗客コンベアの内デツキを図に基づいて説明する。

第1図および第2図は本発明の乗客コンベアの内デツキの一実施例を示す説明図で、第1図は全体構成を示す縦断面図、第2図は第1図のA部構成を示す縦断面図である。なお、第1図および第2図において、前述した第3図に示すものと同等のものは同一符号で示してある。

10 この第1図において、欄干6の基部とスカートガード2の上部を覆う内デツキ20は、下部に、スカートガード2と対向する側に突起する突起部21を備え、一方、上部に、トラス8により支持され、ねじ23により固定される取付部22を設けてある。そして、この取付部22の上方を目地ゴム24で覆つてゐる。

次に、第2図において、内デツキ20の下部に備えられる突起部21は、スカートガード2、上部ブラケット3にそれぞれ穿設される穴25、26に、緩衝材27を介して嵌合している。

20 この実施例にあつて、乗客コンベアの点検整備などのため内デツキ20の取外しを行なうには、まず、第1図に示す目地ゴム24を取外して、ねじ23をゆるめて取外す。次に、内デツキ20をステップ1側に引張ることにより、突起部21を穴26、25より抜き取る。こうして、内デツキ21を取外すことができる。また、点検整備などが終了し、この内デツキ20を再び取付けるには、取外し時と逆の手順により、内デツキ20の下部の突起部21を穴25、26に挿入し、上部の取付部22をねじ23により固定し、この取付部22の上方を目地ゴム24で覆うようになつてゐる。

30 〔発明の効果〕

本発明の乗客コンベアの内デツキは、以上のように構成したので、ステップ近傍に配置される内デツキの下部に、取付用ねじを設けることなく、該内デツキを容易に取付けることができる。したがつて、内デツキの取付用ねじの抜け出しにより、乗客の衣服などを引掛ける事故を防止することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

第1図および第2図は本発明の乗客コンベアの内デツキの一実施例を示す説明図で、第1図は全体構成を示す縦断面図、第2図は第1図のA部構成を示す縦断面図、第3図は第1図に対応する従来の乗客コンベアの内デツキを示す縦断面図である。

40 1……ステップ、2……スカートガード、3……上部ブラケット、6……欄干、8……トラス、20……内デツキ、21……突起部、22……取付部、23……ねじ、24……目地ゴム、25、26……穴。

【第2図】

